

令和3年度3学期始業式（高校・中学）

新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお祈りします。

さて、3学期が始まりました。この冬期休暇中、3者面談で話されたことを実行しているでしょうか。中学または高校に入学してから何回も様々なアドバイスを受けてきたことと思います。まずは心のフィルターを通してみることで、そして、素直に一度実行することが大切です。もちろん修正する部分ということかもしれませんが、それ以上にどう目標に向かっていくかであると思います。大切なことは、まずは「やってみる」ことです。やれば出来ます。出来ないのはやらないからです。たとえ失敗しても、そこから何かつかめるはずで、イギリスの政治家が言っています。「私は決して行動について心配しない。しかし、行動しないことだけは心配する」。

また、この休暇中、皆さんは冬期講習でよく頑張り、さらに年末年始も教育センターでこつこつと学習していた姿も見かけました。元旦にも受験生の激励会に何人も集まりました。この「ひたむきさ」が肝心です。全国大会で準優勝したラグビー部の必死になって「ひたむき」に戦った姿は焼き付いていると思います。一人も欠けずに全員が果敢に向かっていったのです。そうした「ひたむきさ」を大事にしてほしい。何事も合理的にと、最小限の努力でという世間の風潮ですが、何かを突破しなければならぬ時は、計算をすることなく、まずは行動を起こす、しかも、ひたむきに、これを皆さん心掛けていてもらいたいのです。

ところで、現在、再び新型コロナウイルス感染拡大となり、深刻な状況です。感染者も急激に増えていますし、変異株の感染拡大も心配です。3年生は、まだ多くの方が受験を控えています。部活動も新人戦などの大会を控えています。変わることなく引き続き、検温、手指消毒、マスク着用を引き続き徹底し、乗り越えていきましょう。3学期も試練の時になるかもしれません。しかし、今年干支で言うと壬寅（みずのえとら）となります。これは、「冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力にあふれ、華々しく生まれる年になる」と言われています。困難に打ち勝つ度に人は強くなります。皆さんも徐々に強くなっています。ですからラグビー部のように様々な困難に打ち勝ち、逆にそれを力に変え、結果を生み出すよう頑張ってください。

ラグビー部全国大会準優勝祝勝会

ラグビー部、全国大会準優勝おめでとうございます。本校ラグビー部はもとより栃木県初の快挙であり、新たな歴史を刻みました。本当に素晴らしいことです。

今大会の5試合を通じて、皆さんのひたむきに、必死になって相手に向かっていく姿、そして最後まで諦めることなく、粘り強く戦う姿には心を打たれました。その姿に対して本校関係者、同窓生、ラグビー部OBだけではなく、栃木市を始め多くの一般の方々からも賞賛の声が届きました。多くの人たちに感動を与えてくれたことに改めて感謝します。

皆さんが素晴らしかったことは、その戦いぶりだけではありません。主将がアクシデントで試合に出られない状況にありながら、それを逆に力に変え、結束力をさらに強めたというところに、精神的な強さと仲間との強い絆、信頼感が感じ取れました。また、普段から全員が心掛けていた「規律」を守る精神は、プレーにおいてだけでなく、試合後のきちんとした挨拶、相手チームに対して敬意を表する態度などに表れていました。そうした人間的な成長ぶりを、私は特に嬉しく思いますし、高く評価します。これも大きな財産であり、次へと引き継いでいってほしいと思います。

今回の素晴らしい結果は、監督を始めスタッフの皆さん、そして部員全員で勝ち取った結果だと思えます。この経験を糧としてラグビー部、そして部員の皆さん一人ひとりが、更なる高みへと向かっていってくださることを期待します。本当にご苦労さまでした。そして、ありがとうございました。